



V13.0 バージョンアップ リリースノート



最終更新日 : 2020 年 5 月 27 日

はじめに

リリースノートでは SkyVisualEditor の主要な新機能や既存機能の機能強化に関する概要情報を提供します。新機能、機能強化には既存環境に影響を与える可能性のあるものがあります。影響があるアップデートについては、**重要な更新** のマークをつけていますので、ご利用中の画面への影響について、十分にご検討いただけますようお願いいたします。尚、より詳細な情報については、リリース時に公開予定のヘルプサイトを参照ください。

※当リリースノートは V12.1, V12.2, V13.0 をまとめて記載しています。

ヘルプサイト：

SkyVisualEditor ポータル <https://doc.terraisky.com/display/SVEPP4JA/Home>

SkyVisualEditor LC <https://doc.terraisky.com/display/SVELC4JA/Home>

SkyVisualEditor VF <https://doc.terraisky.com/display/SVE4JA/Home>

目次

1. SkyVisualEditor LC 更新内容	4
1.1. データテーブル 機能追加	4
1.2. カスタムボタン 機能追加	6
1.3. ビルダー設定 機能追加	8
1.4. 自由テキストが複数行入力に対応	10
2. SkyVisualEditor VF 更新内容	12
2.1. LEX における画面遷移の改善 重要な更新	12

1. SkyVisualEditor LC 更新内容

SkyVisualEditor LC における更新内容は下記の通りです。

1.1. データテーブル 機能追加

新規ユニット「データテーブル」が追加され、この機能により主オブジェクトに関連するオブジェクトのレコード内容が表示可能になります。加えて新規レコード追加や項目値の編集も可能となり、例えば親オブジェクトのレコードページから関連する子オブジェクトの複数レコードを新規登録するといった、業務シーンで有用なコンポーネントの作成ができるようになります。

※一部の項目型には、表示および編集ができないものがあります。詳細は SkyVisualEditor ヘルプページを参照ください。

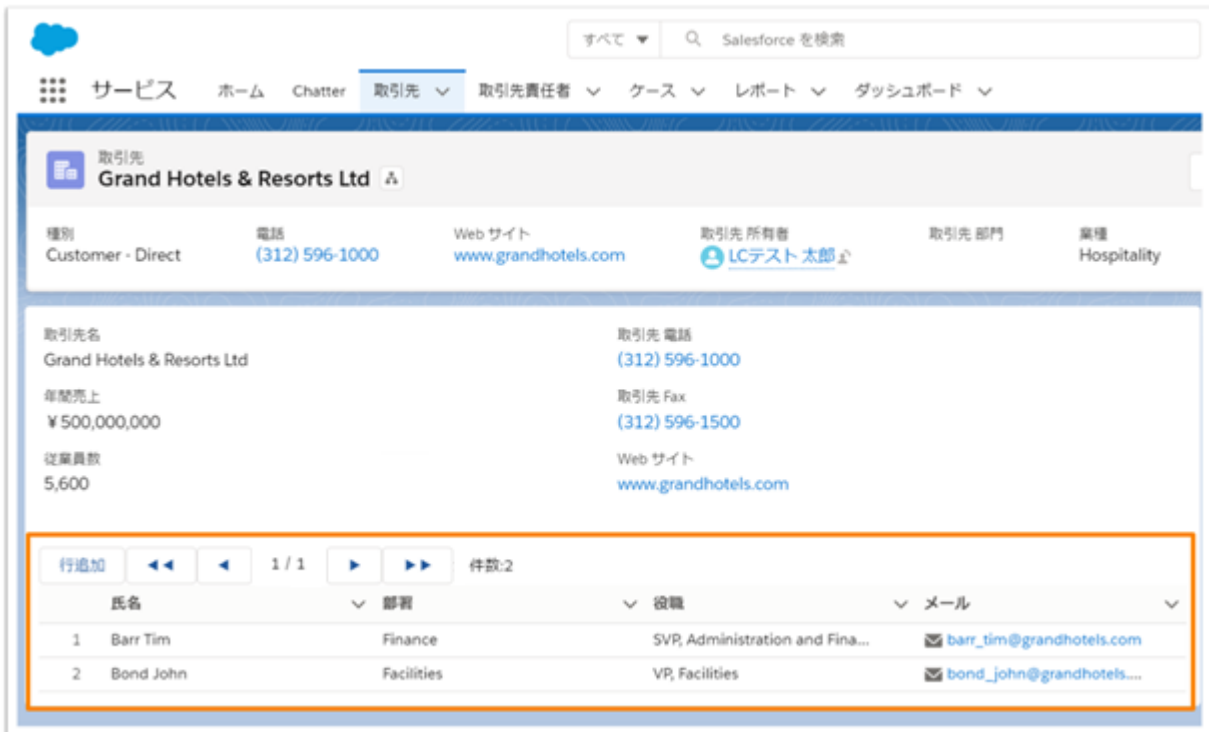


図 1-1 取引先レコードページに配置したデータテーブル

■データテーブル 設定方法

1. ユニットタブからデータテーブルをドラッグ&ドロップでキャンバス上に配置

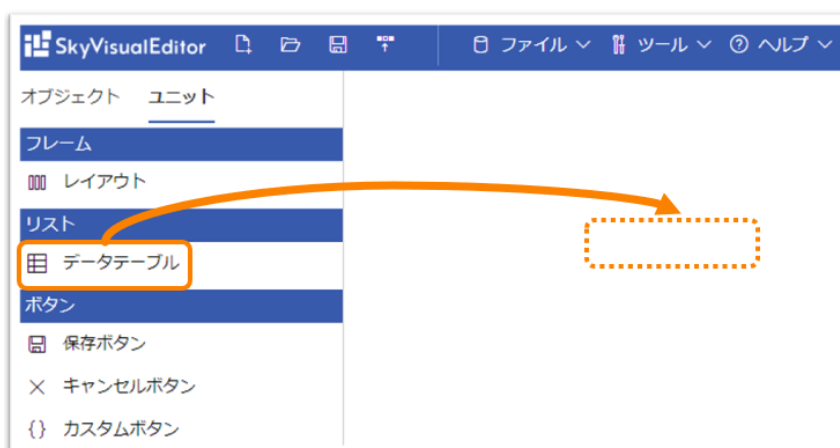


図 1-2 Studio 上のデータテーブル配置

2. 作成されたデータテーブル本体および列プロパティから、ページングやインライン編集の有無を設定



図 1-3 Studio 上のデータテーブル設定例

1.2. カスタムボタン 機能追加

新規ユニット「カスタムボタン」が追加され、押下時に任意の JavaScript を実行できるボタンを、任意の位置に作成可能となります。これにより、例えばカスタムボタンを押下すると画面上に配置した入力項目の値を別画面にパラメータとして渡せるコンポーネントなど、より高度な処理を実装した Lightning コンポーネントを作成可能です。

また、遷移元に戻る、特定の URL を開く、Apex クラスの特定メソッドの呼び出しといった業務上でよく利用する JavaScript は、「サンプルコード挿入」画面から設定可能なため、JavaScript 開発経験があまりない方でも、業務シーンでよく利用される JavaScript を簡単に実装できます。

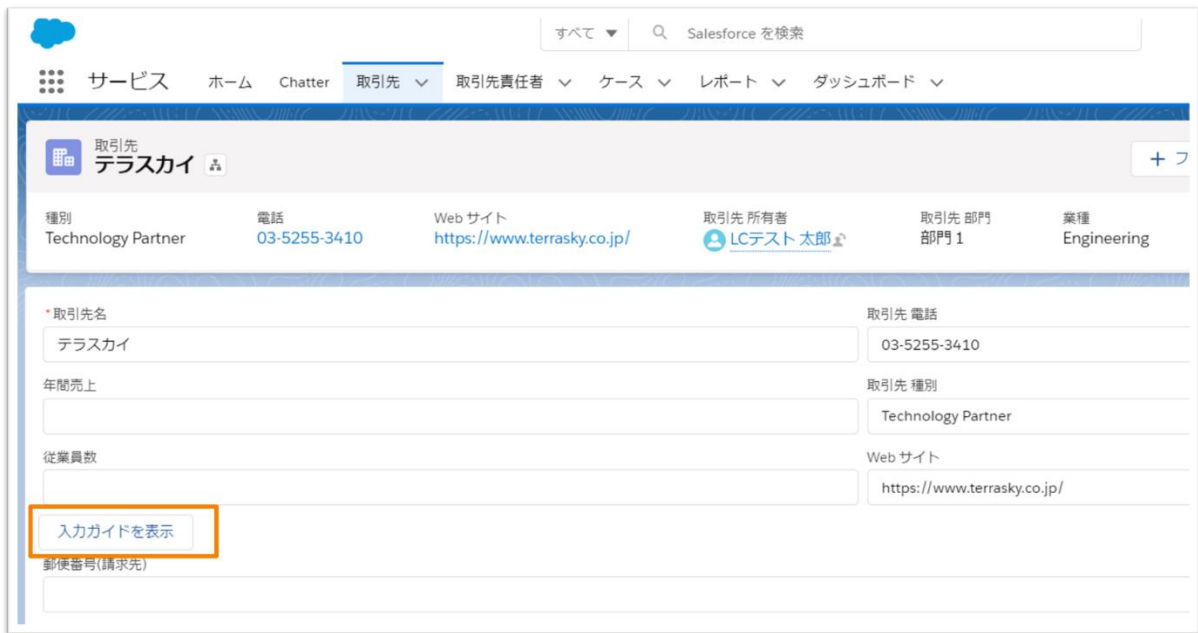


図 1-4 取引先レコードページに配置したカスタムボタン

■カスタムボタン 設定方法

1. ユニットタブからカスタムボタンをドラッグ&ドロップでキャンバス上に配置



図 1-5 Studio 上のカスタムボタン配置

2. 配置したカスタムボタンの OnClick プロパティから任意の JavaScript を設定



図 1-6 Studio 上のカスタムボタン設定例

1.3. ビルダ―設定 機能追加

「ビルダ―設定」機能を使用すると、Salesforce ビルダ―ツール[※]上での表示を設定できるようになります。これにより、LC 版 Studio からデプロイしたコンポーネントに分かりやすい和名を付けて表示したり、Lightning アプリケーションビルダ―のレコードページ上で主オブジェクトが一致しないコンポーネントは非表示にしたりできます。

※ビルダ―ツールとは Lightning アプリケーションビルダ―、コミュニティビルダ―、Flow Builder などの総称です。

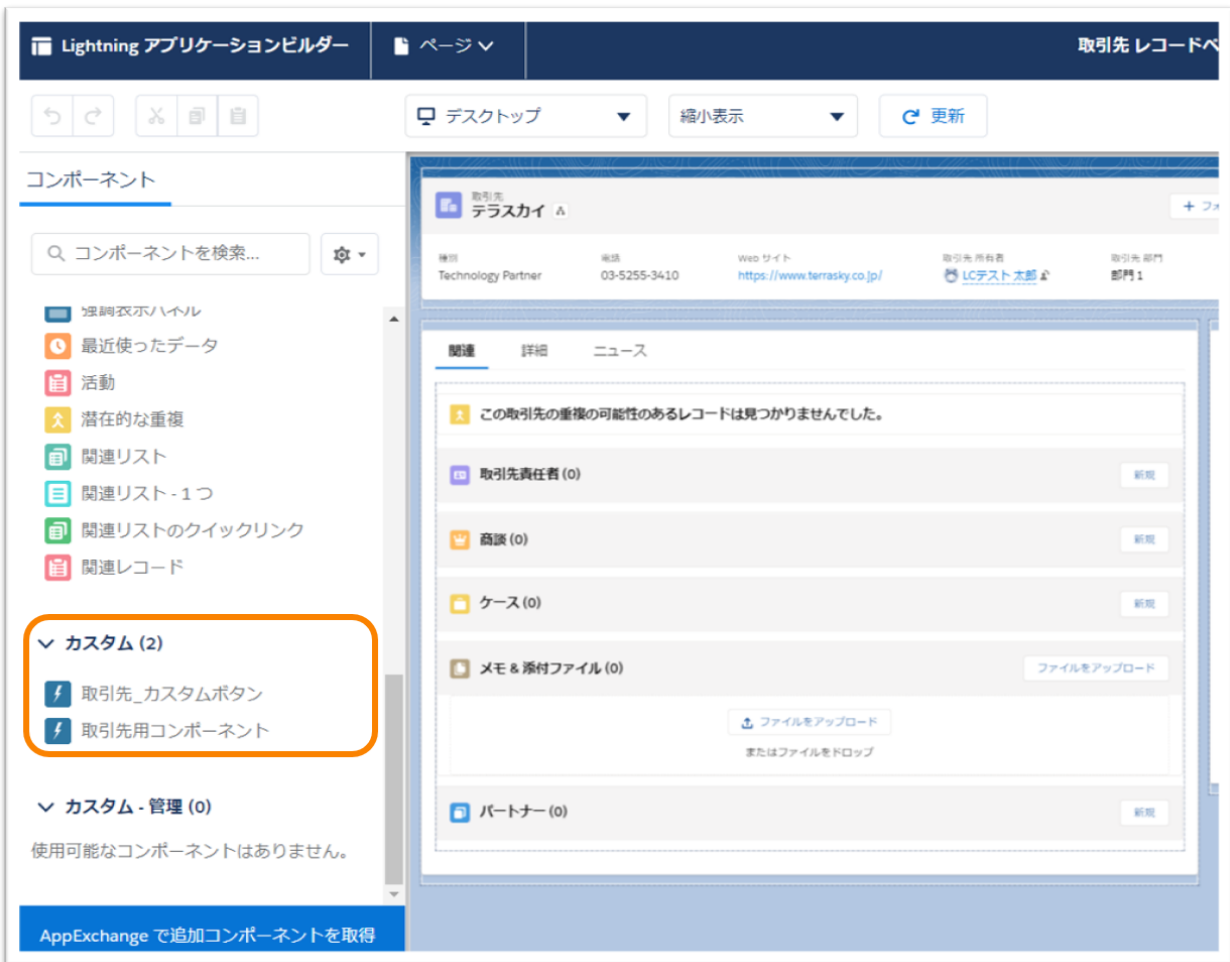


図 1-7 Studio で設定した表示名を Lightning アプリケーションビルダ―で表示



図 1-8 Studio 上のコンポーネント表示名の設定例

1.4. 自由テキストが複数行入力に対応

「自由テキスト」ユニットが複数行入力に対応し、改行を含む業務メッセージも表示可能になります。Studio 上での設定方法も、プロパティタブ上のテキスト入力からテキスト編集画面上での入力に変更され、より入力しやすくなっています。

The screenshot shows the lead record page for 'Boxer Bertha'. The page includes a search bar at the top, navigation tabs (マーケティング, ホーム, Chatter, キャンペーン, リード), and a header with the lead's name and contact information. The main content area contains several input fields for lead details:

- *姓 (Last Name): Boxer
- 電話 (Phone): (850) 644-4200
- 名 (First Name): Bertha
- 携帯電話 (Mobile Phone):
- *会社名 (Company Name): Farmers Coop. of Florida
- メール (Email): bertha@fcof.net
- 役職 (Job Title): Director of Vendor Relations
- リードソース (Lead Source): Web
- *状況 (Status): Working - Contacted
- 評価 (Evaluation): Hot

A red box highlights the following note in the '評価' field:

スコアが70点以上の場合はHot、50点以上70点未満の場合はWarm、50点未満の場合はColdを選択してください。

図 1-9 リードレコードページに配置した複数行設定の自由テキスト

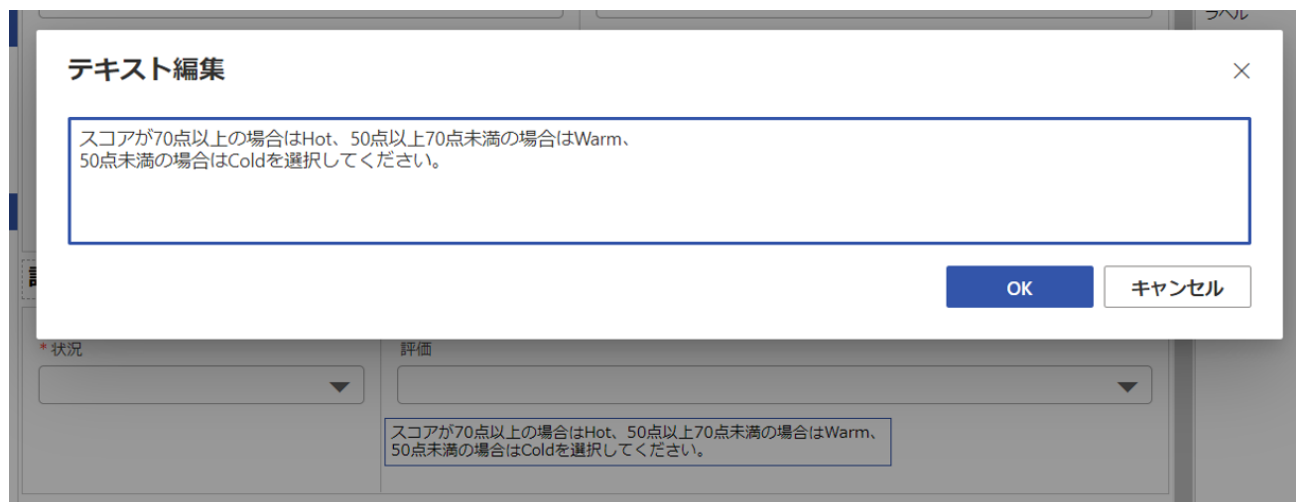


図 1-10 Studio 上の自由テキストの複数行設定例

2. SkyVisualEditor VF 更新内容

SkyVisualEditor VF における更新内容は下記の通りです。

2.1. LEX における画面遷移の改善 **重要な更新**

これまで Lightning Experience(LEX)環境において、「SkyVisualEditor VF」の作成画面に配置した各ボタンやリンクを使用して画面遷移する場合、別ウィンドウで遷移先を開くように設定しても同一ウィンドウで開いてしまうなど、Studio 設定通りに画面遷移できない場合があります。

これは、本バージョンアップにより解消されます。本改善により、LEX 環境で「SkyVisualEditor VF」をより便利にお使いいただけるようになります。

※これまでの LEX 環境における画面遷移の注意点については、下記ナレッジページを参照ください。

<https://doc.terrasky.com/pages/viewpage.action?pagelId=40604607>

SkyVisualEditor V13.0 バージョンアップ リリースノート

SkyVisualEditor V13.0 バージョンアップ リリースノート

株式会社テラスカイ

URL : <https://www.terrasky.co.jp>

お問い合わせ : <https://terrasky.secure.force.com/ProductSupport>
